

JP-MIRAI 御中

(第2回):ネパール人材・留学生受入に関する勉強会

ポウデル サントシュ
BLUE SKY JAPAN 株式会社
2024年10月10日



目次

- 講師プロフィール
- 会社紹介
- ネパールの概要
- ネパールの特性
- 今なぜネパールなのか？
- ネパール人材採用する上での注意点
- データでみるネパール及び来日ネパール人の動向
- なぜ、ネパール人留学生が多いか？参考データ！
- ネパール人を採用する上でのメリット
- 特定技能送り出しガイドライン

講師プロフィール

学歴

2001年:ネパールで高校卒業

2004年:アジア日本語学院(福岡)卒業

2008年:福岡大学経済学部卒業

職歴

2008年:ヒューマンリソシア株式会社

2010年:九州大学

2015年:

JICE 一般財団法人 日本国際協力センター

2018年:

株式会社エスアンドケイホールディングス

2022年:BLUE SKY JAPAN株式会社

社会活動

2006年:福岡県留学生会(FOSA)会長

2007年:ネパール人留学生会(NESAJ)会長代理

2008年:在日ネパール人協会(NRNA)役員等



BLUE SKY JAPAN株式会社
代表取締役
ポウデル サントシュ

会社概要



会社名	BLUE SKY JAPAN株式会社 (BLUE SKY INTERNATIONAL PVT.LTD.の日本法人)
設立	2022年10月
所在地(本社)	東京都千代田区神田小川町1-8-14 神田新宮嶋ビル3階
資本金	800万円
代表取締役	ポウデル・サントシュ
取締役	羽田 尚雄 カトワル・プレイム・バハドゥル
監査役	渡守武 晃
売り上げ高	190,000 千円 (2023年BLUE SKY INTERNATIONAL実績)
従業員数	82名(BSI、キングス職業訓練校を含む)
取引先銀行	みずほ銀行 楽天銀行 ヒマラヤ銀行
事業内容	ネパールでの日本語教育・送り出しから日本国内の支援まで一貫したサポート 在ネパール日本語学校運営、ネパール人材の送出し機関業務支援 ネパール人就労者の支援業務、日本・ネパール間のコンサルティング業務 登録支援事業、有料職業紹介事業、通訳・翻訳事業 有料職業紹介事業 【認可番号: 13-ユ-314961】 登録支援機関事業 【登録番号: 23登-008704】

ネパールの概要①

- 日本から直行便で約8時間
- インドと中国の間に挟まれた、海に面していない内陸の小さな国
- 世界で唯一三角形の国旗
- 世界最高峰のエベレストを有するヒマラヤ登山の玄関口
- お釈迦様が生まれた国



国旗



国章



ネパールの概要②

首都:	カトマンズ
民族:	パルバテ・ヒンドゥー, マガル, タルー, タマン, ネワール等
宗教:	ヒンドゥー教徒(81.3%), 仏教徒(9.0%), イスラム教徒(4.4%)他
面積:	14.7万km ² (北海道の約1.8倍)
人口:	3,054万(2022年 世銀)
主産業:	農林業、観光業、貿易・卸売業、海外出稼ぎ
平均月収:	2~3万円

総貿易額

(1)輸出 1,571.4億ルピー

(2)輸入 1兆6,117.3億ルピー

(2022/2023年度、ネパール貿易・輸出促進センター)

経済概況

GDP約408億ドル、一人当たりGDP約1,337ドル(2022年度)の後発開発途上国(LDC)。経済構造では、農林水産業がGDPの約24.1%及び就労人口の57.3%を占める。

労働人口

毎年市場に出る労働人口:50万人、国内雇用最大人口:10万円

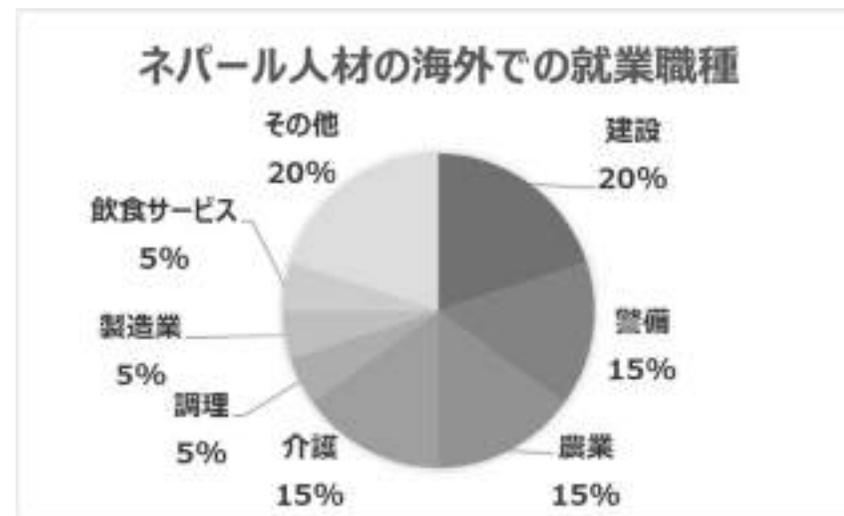
ネパール人の特性

- ネパール人の特徴として、60年前の日本人と性格がよく似ていると言われており、非常に勤勉で働き者であると評価されることが多い。これは、日本人とネパール人の親和性が高いことの一番の理由と考えられる。
 - ネパールの中学校の教科書で、戦後の日本の経済成長についてしっかり教育されるため、多くのネパール国民が日本への憧れを持ち、結果としては親日派が多い状況となっている。
-
- 感受性が豊か・和やかでいつも笑顔
 - 人懐っこく、人が好きですぐに「友達」「家族」認定する(フレンドリー)
 - 愛情深い
 - 他者に遠慮深い一方、身内には遠慮がない
 - 助け合いの精神が強い反面、他力本願的なところもある
 - 身内を大切にする
 - 言語習得能力が高い
 - お風呂に不慣れ(水浴び、シャワー文化)

ネパール人の特性②

●ネパール人材が多く活躍しているフィールド

ネパール人材が多く活躍している国としては、インド、マレーシア、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、日本、韓国、香港等が挙げられる。



・隣国インドの影響もあり、ネパールでは、教育がすべて英語で行われることが珍しくないことから英語話者が多く、英語圏での就労を希望する人が多い傾向にあります。

・ネパール人は、ネパール語、英語に加え、それぞれの民族ごとの言葉が話せる人が多く、新しい言語の習得能力が高い人が多いと言われています。

今、なぜ【ネパール】なのか①

- ▶ 近年、国内の人手不足を背景に、日本で働く外国人は過去最多の200万人を突破しています(2024年)。
- ▶ 外国人の中でも、特に**ネパール人**の雇用受け入れが進み、日本の労働力の一助となっています(例:コンビニ、介護・外食等の特定技能の16業種など)。
- ▶ ネパールには郷に入っては郷に従えとの教えがあり。
- ▶ ネパール国内での日本語教育環境の整備済み。

在日ネパール人の伸び率

NEPAL

- (1)中国: 821,838人(+60,275人)
- (2)ベトナム: 565,026人(+75,714人)
- (3)韓国: 410,156人(-1,156人)
- (4)フィリピン: 322,046人(+23,306人)
- (5)ブラジル: 211,840人(+2,410人)
- (6)ネパール: 176,336人(+36,943人)**

出入国在留管理庁ホームページより:



今、なぜ【ネパール】なのか②

ネパール国内の雇用事情

ネパールは、地理的に産業が発展しづらく、雇用の機会が限られています。そのため、人口の約1割以上が外国に出て働いています。

また、ネパール人の母国への送金は、ネパール国の貴重な外貨収入源となっています(ネパールのGDPの約3割が出稼ぎ人材からの仕送りと言われている)。

NEPAL

ネパール人が多く活躍しているフィールド

インド、マレーシア、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、韓国、香港、日本

ネパール人材を採用する際の留意点

1. 文化の尊重

海外から日本に来る外国人も一人の人間です。文化や考え方を尊重してあげてください。特にネパール人は日本人と同じく遠慮深い傾向があります。職場ぐるみ、家族ぐるみで仲良くしていただければ、必ず企業の役に立ってくれます。

2. 信仰(宗教)の尊重

宗教(ヒンドゥー教)上、牛肉を食べない人が多いです。

また、年間を通じてネパールの最大のお祭りである『ダサイン祭』と『ティハール祭』の期間(10月～11月ごろ)に、休暇を与える等の配慮があるとなおよいでしょう。お互いの文化を尊重し、相手を思いやり、やさしい気持ちで、国籍を問わず、全ての従業員と同じように接することが大切です。

3. 柔軟性

ネパール人やその他諸外国の人材を採用し、上手に活用されている企業に見られる傾向として必ずどこの企業にも『柔軟性』があります。

時には厳しく、時には大目に見る精神で受け入れてあげてください。

ネパール総人口 推移

年		成長率	年		成長率
2004	26,004		2014	27,462	0.29%
2005	26,285	1.08%	2015	27,610	0.54%
2006	26,519	0.89%	2016	27,861	0.91%
2007	26,714	0.73%	2017	28,183	1.16%
2008	26,882	0.63%	2018	28,507	1.15%
2009	27,027	0.54%	2019	28,832	1.14%
2010	27,162	0.50%	2020	29,349	1.79%
2011	27,266	0.39%	2021	30,035	2.34%
2012	27,331	0.24%	2022	30,548	1.71%
2013	27,382	0.19%	2023	30,897	1.14%

基本データ比較 2023年

国名	1人辺り名目GDP	名目GDP	人口	平均年齢
日本	33,806	4,212,944	124,621	49.0
中国	12,514	17,662,041	1,411,397	39.1
タイ	7,337	514,945	70,183	39.7
インドネシア	4,942	1,371,171	277,432	29.8
ベトナム	4,324	433,702	100,300	32.4
フィリピン	3,868	436,622	112,890	25.3
カンボジア	2,460	41,855	17,012	25.8
ネパール	1,320	41,015	31,081	24.7
ミャンマー	1,190	64,496	54,205	29.5

単位 US\$ 百万US\$ 千人 歳

出典 IMF統計 IMF統計 世界銀行統計 国連統計

在留資格別在留数順位

	全在留数	在留数	割合
1	中国	821,838	24.1%
2	ベトナム	565,026	16.6%
3	韓国	410,156	12.0%
4	フィリピン	322,046	9.4%
5	ブラジル	211,840	6.2%
6	ネパール	176,336	5.2%
7	インドネシア	149,101	4.4%
8	ミャンマー	86,546	2.5%
9	台湾	64,663	1.9%
	総数	3,410,992	100.0%

	技術・人文知識・国際業務	在留数	割合
1	ベトナム	93,391	25.8%
2	中国	92,141	25.4%
3	ネパール	32,862	9.1%
4	韓国	24,125	6.7%
5	台湾	13,832	3.8%
6	スリランカ	12,223	3.4%
7	インド	12,177	3.4%
8	ミャンマー	10,511	2.9%
9	フィリピン	9,632	2.7%
	総数	362,346	100.0%

出典：在留外国人統計統計表より

在留資格別在留数

	留学	在留数	割合
1	中国	134,651	39.5%
2	ネパール	55,604	16.3%
3	ベトナム	43,175	12.7%
4	韓国	14,671	4.3%
5	ミャンマー	12,177	3.6%
6	スリランカ	10,378	3.0%
7	台湾	8,154	2.4%
8	インドネシア	7,741	2.3%
9	バングラデシュ	7,231	2.1%
	総数	340,883	100.0%

出典：在留外国人統計統計表より

なぜネパールからの留学生が多いか？①

背景

- ① 多くの留学生がオーバーワーク等で在留資格の更新できず帰国し、その後、就労の機会がなく、ネパール国内で日本語学校を経営
- ② 帰国後の留学生は日本語学校との接点があり、そのつながりで留学生の送り出し業務を積極的に進める。

制度

- ① 留学生の送り出し業務はネパール政府教育省認可
(保証金無し、比較的に設立や認可が簡単)
- ② 技能実習生や特定技能の人材は労働・雇用・社会保障省の認可
(保証金1500万円等、設立や認可が厳しい)

試験

留学生： 150時間の日本語学習のみ・試験等を受ける必要性がない
技能実習生： 出国前ネパール国内で厳しい試験
特定技能： 日本語検定N4の合格＋技能試験合格が必修

結論

来日が比較的簡単な留学生を目指す方が多い。しかし、目的にあった在留資格が極めて大切であるため、本当に留学ビザでの入国が正しいかどうかの判断が大切。現在、労働・雇用・社会保障省が新たなガイドラインを策定したことに伴い、今後は**技能実習**や**特定技能**での来日が増える見込み。

なぜネパールからの留学生が多いか？②

日本語教育機関への留学生数の傾向把握アンケート

2024年 3月8日現在

4月期生・申請数／交付数

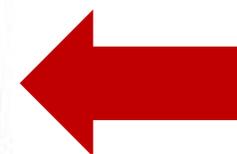
832 校

402 校回答

48.3%

国籍	4月期生			交付数前年比	
	申請数	交付数	交付率		
China 中国	2023年	5,428	5,331	98.2%	1967
	2024年	7,384	7,298	98.8%	1.37 倍
韓国	2023年	201	197	98.0%	29
	2024年	227	226	99.6%	1.15 倍
台湾	2023年	493	489	99.2%	1
	2024年	492	490	99.6%	1.00 倍
Vietnam ベトナム	2023年	3,075	2,878	93.6%	1588
	2024年	4,558	4,466	98.0%	1.55 倍
Nepal ネパール	2023年	7,960	4,977	62.5%	6025
	2024年	14,314	11,002	76.9%	2.21 倍
モンゴル	2023年	459	326	71.0%	103
	2024年	461	429	93.1%	1.32 倍

INTERVIEW
Nepal to send more skilled workers to Japan: labor minister



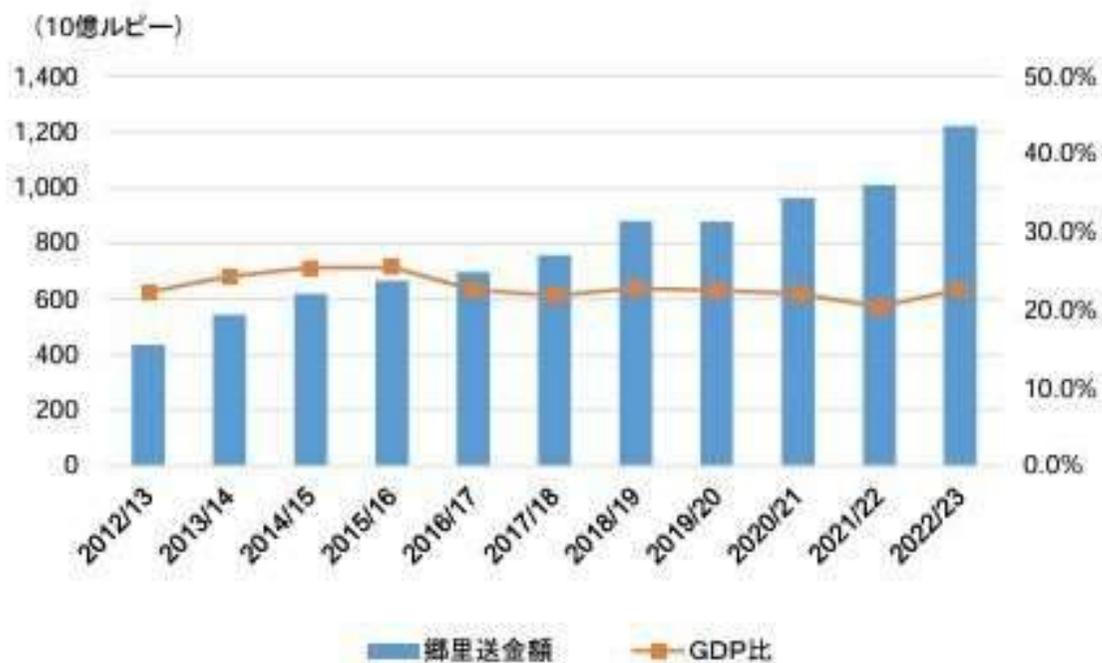
在留資格別在留数

	特定技能 1 号	在留数	割合
1	ベトナム	110,628	53.1%
2	インドネシア	34,253	16.4%
3	フィリピン	21,364	10.3%
4	中国	13,456	6.5%
5	ミャンマー	11,873	5.7%
6	カンボジア	4,664	2.2%
7	ネパール	4,430	2.1%
8	タイ	4,359	2.1%
9	スリランカ	995	0.5%
	総数	208,425	100.0%

	技能実習 1 号口	在留数	割合
1	ベトナム	76,711	45.7%
2	インドネシア	37,995	22.7%
3	ミャンマー	14,472	8.6%
4	フィリピン	12,708	7.6%
5	中国	10,506	6.3%
6	カンボジア	5,727	3.4%
7	タイ	4,091	2.4%
8	モンゴル	1,211	0.7%
9	ネパール	1,150	0.7%
	総数	167,734	100.0%

出典：在留外国人統計統計表より

海外からネパールへの送金額／GDP比



(出所) NRB (各年) , Current Macroeconomic and Financial Situation

図 31 郷里送金額とその GDP 比の推移

出典：図説 ネパール経済2024 (在ネパール日本国大使館)

ネパール人の採用メリット

言語/コミュニケーション能力の高さ

ネパールでは、英語教育に力を入れており、ほとんどの若者が英語を習得しています。ネパール人の多くは、ネパール語・英語・ヒンディー語を話し、近年は日本語の需要も高まっています。

若手人材を確保できる

少子高齢化による日本国内での若者の人材不足の解消が叶います。

仕事に勤勉

ネパール人の多くは家族への仕送りのために出稼ぎをしているため、とても勤勉でまじめに仕事に取り組みます。

年配者を敬う価値観

ネパールは年上の人を敬う文化があり、日本での就労に相性が良く、特に介護や接客業ではその力が発揮されます。

ネパール国送り出し法(日本向け特定技能ガイドライン)

特定技能労働者の日本への送り出しに関する注意事項のご案内
(一部、特定技能以外の就労スキームに関する内容も含まれます)

特に重要な違法になってしまうケースについて注意事項は以下の通りです。

1. 駐日ネパール大使館への求人票の提出 **ご注意:未提出が多数(詳細)**
2. ネパール送出機関のネパール政府での認可 **ご注意:下記2点の不十分・不満足が多い**
 - (1)訓練学校を自社保有もしくはフルタイムで使用の契約が必要
 - (2)訓練学校には、2名以上の日本語教育に関する公的な日本語研修証明書を保有する日本語教師の配置が必要(420時間以上の研修受講 他)

ご注意: 上述が満たされない場合、国外労働許可書の発行が困難になり、内定者の出国が認められなくなります。上述は、以下の2つのネパール国の法律と手順によるものです。

Foreign Employment Act, 2007.

Procedures for Sending Specified Skilled Workers to Japan – 2024

Approved form the ministry on February 2024 A.D.



ご清聴ありがとうございました